

# ひたちなか市議会だより

陽の昇るまち  
ひたちなか

もくじ

No. 121

令和5年1月25日

新年のごあいさつ .....	2
審議案件の紹介 .....	2
一般質問 .....	3
討論、請願・陳情、人事 .....	7
委員会の構成変更ほか .....	8
行政調査報告ほか .....	9
市民のこえほか .....	10

# 新年のごあいさつ



議長  
大谷 隆



副議長  
加藤 恭子

明けましておめでとございます。市民の皆さまには、令和5年の新春を健やかに迎えのことと心から喜び申し上げます。また、日頃より市議会運営に対しまして多大なるご支援、ご理解を賜り深く感謝申し上げます。

さて、今年もコロナ禍において、新年を迎えることとなりましたが、徐々に各種会議やイベントなどが再開されてきており、少しずつこれまでの日常生活を取り戻しつつあると思います。

私たちが市議会におきましては、市民の皆さまに信頼される議会を目指し、新型コロナウイルス感染症や物価高騰などへの対策をはじめ、市政の諸課題について、議員一同がしっかりと議論を重ね、活力あるひたちなか市の創造に向け、まい進してまいる所存です。

本年もなおいっそうのご支援ご協力をお願いいたしますとともに、皆さまのご健勝とご多幸を心からご祈念申し上げます。新年のあいさついたします。

## 謹んで新年のご祝詞を申し上げます

### ひたちなか市議会議員

- |      |       |      |       |
|------|-------|------|-------|
| 井坂涼子 | 大内健寿  | 雨澤正  | 樋之口英嗣 |
| 萩原健一 | 弓削仁一  | 三瓶武章 | 井坂英章  |
| 萩原隆行 | 大久保清美 | 深谷一  | 武藤猛   |
| 宇田貴子 | 北原祐二  | 海野富男 | 打越浩   |
| 山田恵子 | 大内聖仁  | 薄井宏安 |       |
| 大内博文 | 鈴木道生  | 大谷立雄 |       |
| 清水健司 | 加藤恭子  |      |       |

(議席順)

市議会議員は、公職選挙法の規定により年賀状を送ることが禁止されているため、本紙面上をもって年頭のごあいさつをさせていただきます。

## 12月定例会で

## 次の案件が提出されました。

● 会期：12月8日～12月22日

### 今回の審議件数は

- 議案：11件 (原案可決10件 同意1件)
- ※報告：1件 (承認1件)
- 請願：1件 (7ページを参照)
- 陳情：1件 (7ページを参照)
- 計：14件

今号ではこの中から3つを左に掲載します。

〈議案第91号〉令和4年度ひたちなか市一般会計補正予算(第5号)

### 『障害者福祉施設、介護施設、医療機関に対する支援金』

物価高騰の影響を受けている障害者福祉施設、介護施設、医療機関に対し、継続した運営を支援するため、定員や病床数などに応じた支援金を措置します。

### 『水道事業会計補助金』

エネルギー価格などの物価高騰は、幅広く市民生活や事業者に影響を及ぼしていることから、負担軽減のため、水道料金の基本料金を2カ月分減免します。

### 『市学校給食会負担金(給食費無償化)』

子育て支援策の一環として、物価高騰で増している保護者の家計負担の軽減のため、小・中・義務教育学校の給食費2カ月分(令和5年2、3月分)を無償化します。

※報告は議会の承認が必要な案件のみ記載  
○案件名と結果の詳細はひたちなか市ホームページをご覧ください。



## 質問者



市の事業などについて、  
執行状況または将来の方針、  
課題などを議員が直接質問しました。

- ① 武藤 猛 議員
- ② 宇田 貴子 議員
- ③ 萩原 健 議員
- ④ 鈴木 道生 議員
- ⑤ 雨澤 正 議員
- ⑥ 大内 聖仁 議員
- ⑦ 清水 立雄 議員
- ⑧ 井坂 章 議員

質問議員本人が選定した2問を掲載しております。なお掲載は登壇の順となっております。



<https://www.city.hitachinaka.lg.jp/gikai/index.html>  
市議会ホームページで議会議録映像の配信や会議録の検索により一般質問などの詳しい内容もご覧になれます。

① 武藤 猛 議員

### 工業用地の確保について



**問** 本市の魅力的な立地環境を活かし、市内外の企業移転・拡張に対応するため、工業用地の確保は喫緊の課題である。今後の取り組みについて伺う。

**市長** これまで、新たな工業用地の早期確保に向けて、さまざまな手法の検討を行い、国や県などの関係機関と調整を行ってきた。その間、大手企業の事業用地取得や市内企業の移転・拡張用地に関する相談が市に寄せられている。工業用地の確保は、本市が持続可能なまちとして発展するための重要な取り組みであるので、引き続き、早期の事業実現に向けて取り組んでいく。

### 産業道路4車線化について

**問** 高場陸橋4車線化は、令和6年度の供用開始を目指しているが、現在2車線区間の産業道路についても、4車線化の必要があるかと思うが、現在の考え方について伺う。

**都市整備部長** 産業道路の一部について、高場陸橋4車線の供用開始に合わせ、暫定整備を行う計画としている。具体的には、高場十字路交差点から下高場交差点までの区間を実質的に3車線化し、現道の幅員を活かした3車線化により、適切な速度を維持しながらの合流が期待できるとともに、合流する際の速度低下による新たな渋滞の抑制にもつながるものと考えている。



高場陸橋工事の様子（令和4年12月末）

◀ 次ページに続く



学校給食の写真

### 給食費無償化に向け、引き続き支援を

問 令和5年2、3月の小中学校の給食費を無償にする予算が提案された。4月以降についても無償化を視野に入れ、引き続き公費による保護者の負担軽減が必要と思うが、いかがか。

教育部長 学校給食については保護者の負担軽減を図ることを目的として、令和5年2、3月分の給食費を無償化するために必要な補正予算を本定例会に提出したところである。令和5年4月以降についても、物価高騰の状況や社会情勢の変化を注視し、適切な支援策について、引き続き検討を重ねていく。

### 不登校や発達障害の子の入試における配慮

問 不登校や発達障害のある子にとって、中学3年は最大の節目・危機であり、高校入試に対する不安も大きい。そこで、入試に際してどのような配慮が可能か伺う。

教育部長 県立高校の入試において、欠席が多いことの事情や、障がいがあることよって生ずる事柄などについて説明する必要がある場合、本人と保護者が作成する自己申告書を出願先の高等学校長に提出することができる。また、特別な配慮が必要な生徒についても、事前に中学校長から配慮すべき点について出願先へ相談することで、試験当日に配慮してもらえることとなっている。



### 中学校部活動の地域移行について

問 部活動の地域移行にあたっては生徒・保護者の多様なニーズに応え、継続的で質の高い多様な活動機会を確保できるよう、本市の実情を踏まえた受け入れ体制の整備が必要となる。課題点を伺う。

教育部長 地域の方々の人材を活用し生徒が専門的な指導を受けられる環境づくりに努めている。今後は教職員の兼職兼業の在り方や芸術文化部活動を含めた部活動指導員の適切な配置を検討する。また、少年団活動や地域の団体、企業などが有している指導が可能な方々と連携し県の人材バンクも活用して、指導者をさらに確保するための方策を検討し学校などにつないでいく。

### 小学校部活動の今後の在り方について

問 吹奏楽部・金管バンド部が部員減少により発表の機会の減少など思うように活動ができない状況にある。時代の変化に合わせ、持続可能な新たな活動環境の整備が必要であると考えますが、市の見解を伺う。

教育部長 今後は、従来の学校単位での活動から、一定規模の地域単位での活動も視野に入れた体制の構築を検討していく。そのためには、活動したい児童を受け入れていたことが可能な団体や、指導をしていただくことが可能な方々と連携して、児童が身近な地域で文化活動に取り組める環境の構築に向けて検討していく。



現在の勝田駅東口

### 勝田駅東口地区の将来像を

問 当地区では中央図書館の建て替えが予定され、市役所の老朽化も課題である。個別の議論ではなく、地区の都市空間の在り方を中長期的な視座で議論し、軸となるビジョンが求められると考えますが、いかがか。

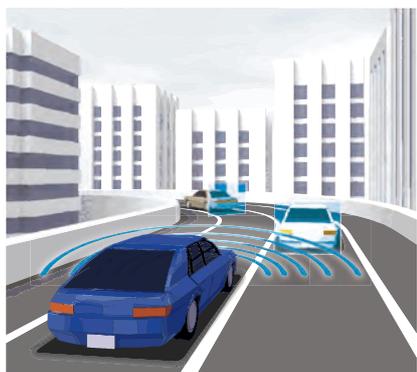
都市整備部長 この地区で建て替えを検討中の中央図書館整備を契機に、まちづくりの施策を集約したランドデザインを検討し、市民のみならず、仕事や観光で訪れる方が快適に過ごせる「にぎわいと活気にあふれるエリア」として、価値を高めていきたい。具体となる都市空間のビジョンや玄関口の機能などは、新たな都市再生整備計画を進めていく中で検討していく。

### ●車がなくても幸福な生活への取り組みは

**問** 75歳以上の後期高齢者が増加する中、車がなくても幸福に暮らせるために生活交通の充実が求められている。他自治体では既にさまざまな取り組みが行われ事業化も進んでいる。来年度の取り組みを問う。

**企画部長** 近年、IT技術を活用した新モビリティサービス【※1】は、まちづくりや地域活性化の施策と組み合わせる活用で、地域が抱える課題の解決にも資する重要な手段の一つとして期待されている。

本市においても、市民の移動手段として、新しいモビリティの導入に向け、交通事業者にも相談し、国などからの支援を活用して実証実験を視野に入れ検討していく。



### ●本市の人材の確保と育成について



**問** 市長が掲げるまちづくりの実現に向けて政策を実現していくためには、優秀な人材の確保や育成が必要であると思うが、今後どのように人材を確保し、職員の育成を図っていくのか問う。

**総務部長** 本市を合格した者のうち毎年複数名が他自治体を選択している状況がある。将来、ひたひたな市の発展を担う優秀な職員を確保するために、労働環境を改善していくことが必要であると考える。「自ら考え行動する職員」の育成を目標とし、DX（デジタルトランスフォーメーション）【※2】の推進にも的確に対応しながら、市民サービスの向上に寄与する職員の育成に努めていく。

### ●出産・子育て応援交付金事業について

**問** 自治体の創意工夫により、妊娠から出産・子育てまで一貫して相談支援につなぐ、伴走型の相談支援と、経済的支援を一体として実施する事業である「出産・子育て応援交付金」について問う。

**福祉部長** 伴走型相談支援は、妊娠届出時および出生届出後に個別面談を行い、さらに妊娠8カ月頃を目安にアンケート調査を実施し、相談・支援の充実を図るものとなっている。経済的支援は、妊娠届出時に5万円相当を支給する出産応援ギフトと出生届出後に5万円相当を支給する子育て応援ギフトの2種類となっており、伴走型相談支援で行う面談が支給要件となっている。



### ●子育て支援・給食費無償化について

**問** 子育て支援、職員や栄養士の方々の負担軽減のために給食費無償化、または一部負担は必要であり、さらには本市のPRにもつながると考える。給食費を公費負担することについて本市の考えを問う。

### ●道の駅の必要性について



那珂湊おさかな市場

**問** 観光産業充実のため、地域の雇用創出や経済活性化のため、住民のための交流施設や防災施設、文化・歴史・名所・特産物などの情報発信の場など、多様な役割が期待できる道の駅の必要性について問う。

**経済環境部長** 経営主体の問題や、民間事業者との販売品の競合のほか、魅力的な地場産品を1年を通して提供することが難しいなどが挙げられる。このようなことから、まずは、那珂湊おさかな市場やJA直売所のような集客力のある既存の販売拠点との連携を深めていきながら、観光客や地域住民の需要を取り込み、観光に伴う消費額の増加につなげることが重要と考える。



### ●市民の声の聴取について

**問** 市長は「市民の声にまっすぐに」と言っている。どういう手法で市民の声を聞き、どういう仕組みで政策に反映するのか伺う。

**市長** これまで地域に出向いたり、懇談会を行ったりと直接市民の声を十分に議論し、適切なタイミングで事業化に向け取り組むとともに、十分な説明を行っていく。  
**企画部長** 市民提案カードや電子メールのほか、市政懇談会の開催や、市政モニターの委嘱など、市政や行政に関する意見や要望などをいただいている。今後も、ニーズの把握や市政への反映に努め、広聴制度の研究をしていく。

### ●施策評価と財源について

**問** 予算編成の際に、限りある財源の中で、事業の選択に苦心されると思われるが、客観性のある評価に立った事業の選択が重要である。市長の所見を伺う。

**市長** これまでも大型事業の優先順位を見極め、財政負担の平準化を考慮しながら、市民生活の向上や本市の発展に寄与する事業を優先的に位置づけてきた。今後も、行財政改革大綱の実施計画における評価を通じて、事業の必要性、費用対効果、適切な事業手法が採用されているかなどを検証しながら、本市のさらなる発展に向けた施策を積極的に推進していく。



### ●地域公共交通の現状について

**問** 人口減少・超高齢化社会に対応した人生百年時代を迎え、市民の移動手段である公共交通は重要だ。コロナ禍による外出自粛やテレワークにより公共交通の環境が厳しい中だが、市の考えを伺う。

**企画部長** 本市では、「地域公共交通網形成計画」において、公共交通の維持・強化を図るための施策および市や事業者の役割分担などを定めている。市は、本計画を推進することで、公共交通事業者などと連携し、公共交通機関の利便性の向上を図るとともに、公共交通を利用しやすい環境整備を行い、まちづくりと連携した市民の交通手段の確保に努めている。

### ●水郡線の経営現状と今後について

**問** JRは7月28日、利用者が1日当たり2千人未満の線区の経営情報を開示した。本市には、水郡線青柳駅・津田駅があるが「利用者が少ない線区」とされている。JRが公表した背景について伺う。

**企画部長** 鉄道各社は、内部補助【※3】により鉄道全体の経営の安定化を図ってきたが、コロナ禍以降、利用者数の減少で収益が悪化し、地方路線の経営を賄うことが厳しくなってきた。JR東日本では、経営状況はさらに厳しくなると予想しており、地域の方々に現状を理解していただき、持続可能な交通体系の議論をするため情報開示をした。市としては、JR東日本の今後の動向を注視していく。



水郡線常陸津田駅

## 用語解説

**P5【※1】モビリティサービス**  
自動車による移動サービスのこと。代表的なところではカーシェアリングなどが挙げられる。

**P5【※2】DX（デジタルトランスフォーメーション）**  
経済産業省のDX推進ガイドラインでは、「企業がビジネス環境の激しい変化に対応し、データとデジタル技術を活用して、顧客や社会のニーズを基に、製品やサービス、ビジネスモデルを変革するとともに、業務そのものや、組織、プロセス、企業文化・風土を変革し、競争上の優位性を確立すること」と定義されている。

**P6【※3】内部補助**  
高収益路線である大都市部の路線や新幹線などの収益により、地方の経営の厳しい路線を維持すること。



# 討論

debate

12月定例会の議案について、採決に先立ち次のような討論が行われました。

## 議案に対する討論

### ● 反対

議案第96号 ひたちなか市個人情報保護に関する法律施行条例の制定について、ひたちなか市個人情報保護条例は、個人情報の権利の主体はその個人にあり、市が直接市民の個人情報に責任をもち、その権利利益を守るために運用されてきた。しかし、国の個人情報保護法に一元化することにより審議会への諮問対象は限定される。プライバシー保護の衰退、情報の自己コントロール権の侵害であるとともに、自治権の侵害であり、地方分権に逆行する。今後、住民の個人情報保護を匿名加工して外部提供することも検討していることから、このような条例案は認められない。

以上、「反対討論」です。

## 人事

### 固定資産評価審査委員会委員の選任同意

固定資産評価審査委員会委員に、前嶋 仁一氏を選任することに同意しました。

### ひたちなか市選挙管理委員および補充員の選出

選挙管理委員に、卯野 福弥氏、飛田 均氏、橋本 孝氏、平野 孝子氏を選出しました。

委員補充員に、黒澤 敏江氏、沼田 暁美氏、鹿志村 岩根氏、柳橋 正高氏を選出しました。

## 請願・陳情

請願と陳情は審査の結果、次のとおりとなりました。

### 採択となったもの

▽教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度堅持のための政府予算に係る意見書採択を求めることについて

### 不採択となったもの

▽人事委員会設置に関することについて

## 意見書

「教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度堅持のための政府予算に係る意見書」を内閣総理大臣ほか5機関へ提出しました。

### 措置内容

- 1 中学校での35人学級を早急に実施すること。また、さらなる少人数学級について検討すること。
- 2 学校の働き方改革・長時間労働是正を実現するため、加配の増員や少数職種の配置増など教職員定数改善を推進すること。
- 3 教育の機会均等と水準の維持向上をはかるため、地方財政を確保した上で義務教育費国庫負担制度を堅持すること。



大内 博文氏



萩原 隆行氏

欠員となっていたひたちなか市議会議員の補欠選挙が、去る11月20日に行われました。その結果、萩原隆行氏、大内博文氏が当選されました。

市議会議員補欠選挙で  
萩原 隆行氏 当選  
大内 博文氏 当選

## 常任委員会委員一覧

(令和4年12月現在)

常任委員会名	委 員 名			
総務生活委員会	◎鈴木 道生 大内 健寿	○深谷 寿一 加藤 恭子	萩原 隆行 薄井 宏安	宇田 貴子 井坂 章
文教福祉委員会	◎雨澤 正 大内 博文	○弓削 仁一 三瓶 武	井坂 涼子 樋之口英嗣	萩原 健 打越 浩
予算委員会	◎武藤 猛 弓削 仁一 薄井 宏安	○萩原 健 北原 祐二 清水 立雄	井坂 涼子 大内 聖仁 井坂 章	大内 健寿 雨澤 正 打越 浩
決算委員会	◎樋之口英嗣 大内 博文 加藤 恭子	○山田 恵子 清水 健司 三瓶 武	萩原 隆行 大久保清美 深谷 寿一	宇田 貴子 鈴木 道生 海野 富男

◎委員長 ○副委員長

※ 構成員に変更が生じた委員会のみ掲載しております。

## 会派構成一覧

諸派（市民目線ひたちなか、市民派）が加わり、会派の構成が次のとおり変更になりました。

(令和4年12月現在)

会 派 名	構 成 員			
未来ひたちなか	◎打越 浩 海野 富男	清水 健司 大谷 隆	大内 健寿	弓削 仁一
新生ふるさと 21	◎薄井 宏安 清水 立雄	井坂 涼子 樋之口英嗣	萩原 健	鈴木 道生
日新クラブ	◎深谷 寿一	北原 祐二	三瓶 武	武藤 猛
公明党議員団	◎雨澤 正	山田 恵子	加藤 恭子	
諸派 (日本共産党)	◎宇田 貴子			
諸派 (社民党)	◎井坂 章			
諸派 (立憲民主党)	◎大久保清美			
諸派 (自由民主党新政会)	◎大内 聖仁			
諸派 (市民目線ひたちなか)	◎萩原 隆行			
諸派 (市民派)	◎大内 博文			

◎代表者

## 閉会中の常任委員会活動

### 総務生活委員会

○11月2日

治安・防犯対策について、執行部から説明を受け、質疑を行いました。

### 文教福祉委員会

○11月7日

美乃浜学園において、栄養教諭から学校給食について説明を受け、質疑を行いました。またその後、給食の試食を行いました。

### 経済建設委員会

○11月10日

地域ブランド米として期待が高まっている「特裁・特選ふくまる」の状況について、物価など高騰支援策についておよび耕作放棄地について、執行部から説明を受け、質疑を行いました。

## 行政調査報告

### 議会広報委員会

議会広報委員会は、10月17～18日の日程で、長野県上田市、新潟県上越市を訪問しました。

上田市では、市議会インターネット中継導入により市民の関心が高まり、令和3年には、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、インターネットによるライブ中継を主とした議会報告会を開催するなど、開かれた議会を目指した取り組みが行われています。これらの議会広報広聴活動および議会だよりの編集について調査しました。

上越市では、時代に対応した新たな手段で情報を発信するため、本会議・委員会の動画配信を行っています。また、市議会だよりを全戸配布のほかに、市議会ホームページやFacebook、マチイロで配信し、今後は市の公式LINEで周知することを予定しています。動画配信導入の経緯や、積極的な広報活動の成果と課題について調査しました。



上越市調査の様子

ひたちなか市議会では公職選挙法の規定を守り、虚礼廃止の申し合わせをしています

**政治家の寄付は禁止されています**

政治家（現職の政治家や候補者、これから立候補しようとしている人）が、選挙区内の人に対して寄付をすることは、法律で禁止されています。ただし、次の①、②の場合は罰則の対象とはなりません。

- ①政治家本人が自ら出席する結婚披露宴における祝儀
  - ②政治家本人が自ら出席する葬式や通夜における香典
- ※①や②であっても、選挙に関するもの、通常一般の社交の程度を超えている場合は罰則の対象となります。

**後援団体の寄付は禁止されています**

政治家の後援団体（いわゆる後援会）が、選挙区内の人に対して寄付をすることは、法律で禁止されています。

**政治家に寄付を求めめることは禁止されています**

有権者が政治家に対して、寄付を出すように勧誘や要求をすることは禁止されています。

#### 【禁止される寄付の例】

- ・地域の行事やスポーツ大会への寄付や差し入れ
- ・お祭りへの寄付や差し入れ
- ・お中元やお歳暮
- ・病気見舞い
- ・葬式の花輪や供花
- ・本人が出席しない場合の結婚祝いや香典



# 市民のこえ

hitachinaka

アナザースカイに羽ばたく！

**田彦 西村 昭彦**さん

再雇用の2年目、新しく生まれ変わった気分です。健康に感謝、心と体はつながっていることを感じます。今まで会社での研究開発が仕事でした。コロナ禍のテレワーク推奨の下、自宅を工房に改装する準備を進めてきました。地域を活性化させるNPO活動につながるよう、仲間と助け合い科学とものづくりを通じて者(若者)づくりに励みます。元気なシニア世代の方々、一緒に頑張りましょう！



情の深い街ひたちなか

**平磯町**

**磯崎 俊宏**さん

ひたちなか市那珂湊地区は自然豊かな海に接しており、昔から水産業が盛んです。我が家も6代180年にわたる水産加工業を営んでいます。現在の地で生活できるのも地域の皆さまに支えられ続けているおかげ。情の厚い街に生まれ育ったことに誇りを感じます。現在、ひたちなか市ふるさと納税返礼品を提供することで、ひたちなか市の魅力を伝え、市に貢献できることに嬉しく思っています。



## 次回3月定例会(予定)

日	月	火	水	木	金	土
2/19	20	21	22	23	24	25
		議事・議案審議 正午	定例会告示 議会運営委員会			
26	27	28	3/1	2	3	4
			本会議 (開会)	本会議 (午後1時開議)		
5	6	7	8	9	10	11
	(議案調査)	(議案調査)	(議案調査)	(議案調査)	本会議 (代表質問)	
12	13	14	15	16	17	18
	本会議 (代表質問・一般質問)	本会議 (一般質問・議案審議)	本会議 (予備日)	予算委員会	予算委員会	
19	20	21	22	23	24	25
	予算委員会		予算委員会	予算委員会 (予備日)	3常任委員会	
26	27	28	29	30	31	4/1
	(事務整理)	本会議 (閉会)				

## 議会を傍聴しませんか

本会議は、当日受付で、住所・氏名・年齢を記入するだけで簡単に傍聴することができます。ご不明な点は議会事務局へお問い合わせください。

(273-0111内線4211)

本会議の開始時間は、午前10時です。

(日程が変更になる場合もあります)

なお、新型コロナウイルス感染症の状況により、感染症対策などをお願いする場合があります。

ひたちなか市議会/ひたちなか市公式ホームページ

<https://www.city.hitachinaka.lg.jp/gikai/index.html>



## 編集帳

新しい年がスタートしました。

議会も新しい仲間を迎え、スタートをしています。地方分権の進展に伴い、近年、市議会の役割と責任が増大し、多様化する民意の市政への反映と集約が期待されています。

本会議のライブ中継配信準備、タブレット端末の試験的導入を図りIT化を進めています。活力ある地方議会の創出に向け積極的に取り組んでまいります。…………… (大内 健寿 記)



再生紙と植物油インキを使用しています。